

4/18

第10回高等研究院レクチャーを開催

■高等研究院



講演会場の様子

理学南館坂田・平田ホールにおいて、第10回高等研究院レクチャーを開催しました。今回は「クフ王のピラミッドと素粒子宇宙物理学」と題して、周藤芳幸高等研究院副院長からのあいさつの後、森島邦博高等研究院特任助教から「宇宙線イメージングによるクフ王のピラミッド内部における新空間の発見」、河江肖刺人文学研究科附属人類文化遺産テキスト学研究センター共同研究員から「オープンイノベーション

によるピラミッド群の3次元調査」について講演がありました。当日は、200名を超える来場者があるなど、質疑応答の時間には多くの質問があるなど、活発な意見交換が行われ、熱気溢れるレクチャーとなりました。また、会場前に、宇宙線や放射線を可視化する「霧箱」が展示され、多くの来場者が担当者の説明に興味深く聞き入っていました。

4/20

展覧会「数学博物館をつくろう!」を開催

■大学院多元数理科学研究科



ギャラリートークの様子

4月9日から20日までの間、教養教育院プロジェクトギャラリー「clas」において、展覧会「数学博物館をつくろう! Vol. 5 -線形代数学とその応用」を開催しました。この展覧会は伊藤由佳理多元数理科学研究科准教授が担当した講義の受講生の作品を用いて、数学を身近に感じてもらうことを目的として開催されました。5回目を迎えた今回の展覧会のテーマは「線形代数学とその応用」でした。高校で「行

列」を学ばなくなったため、大学の「線形代数学」で初めて出会う「行列」に親しんでもらおうと、昨年度の理学部1年生が新生を意識して作成したポスターが展示されました。18日にはギャラリートークがあり、伊藤准教授が、線形代数学で学ぶ様々な概念が日常生活で役立っていることを紹介しました。なお、今回の作品は10月開催のホームカミングデイでも同研究科内に展示される予定です。

4/24

第139回防災アカデミーを開催

■減災連携研究センター



講演する山本専務理事

減災館1階減災ホールにおいて、第139回防災アカデミーを開催しました。

今回は、愛知県で長く農業用水に関わる業務に携わり、現在は愛知県土地改良事業団体連合会の専務理事を務めている山本信介氏を招き、「農業用水の歴史と過去の渇水対策から学ぶ…これからの水対策」と題した講演を行いました。参加者は、89名でした。

今回の講演では、愛知用水や明治用水といった、これまで愛知県の農業を

支えてきた農業用水の成り立ちや他の水利との闘いの歴史を紹介され、水利権の現状や課題、これからの水利用についてのアイデアなどを話されました。